

令和7年度 大田区立松仙小学校 自己評価 報告書

令和8年3月5日

○ 本校の概要

○児童数 684名 ○学級数 22学級 第2・3学年:3クラス、第1・4～6学年:4クラス(令和7年5月1日現在)

○教育目標 「じょうふな子ども」「よく考える子ども」「思いやりのある子ども」

○学校経営方針 国際化、価値観の多様化など、社会の変化に対応できる新しい学校教育の創造に努め、これまでの本校の歴史、伝統、特色を継承した豊かな人間関係の中で次の5点を重視した学校教育を進める。

①未来を創造的に生きる児童の育成 ②体力向上 ③学力向上 ④豊かな心の育成 ⑤多様な学びの場の構築 ⑥特別支援教室との連携

○本校の特色 ・松仙スタンダードの実践 ・学校支援地域本部(サポート松仙)と連携した教育活動の充実。
・「学力の向上は、体力の向上から」との共通理解を図り、一人一人の体力を向上を目指す。
・児童理解のさらなる充実に向け、休み時間には教師も共に遊ぶ「とも遊び」の推進。

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄						
								評価	人数	コメント				
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未 成来 し社 会を 創 造 的 に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	児童のアンケート「友達や周りの人のために何かをしたり、協力したりしています。」の項目に肯定的な回答は、92.7%	4: 90%以上	児童アンケート「友達や周りの人のために何かをしたり、協力したりしています。」の項目に肯定的な回答は、92.7%	A	9	・クロムブックの活用は、児童がゲームのように楽しく取り組める。今後は、タイピング力の強化をお願いしたい。 ・「よくわかる」の数字が伸びるとよい。 ・協調性を教えることは、個性をどう生かすかにつながります。根気よく粘り強く。 ・様々な教育や体験で、児童が協力し合う姿を見ることができた。				
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。			4					4	①昨年度と比べ、肯定率が2.7%増加した。		
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。										3: 80%以上	②校内研究で教科「おたの未来づくり」に、各学年と、専科で取組んだ。今後も継続し、5.6年生ではSTEM教育等の教科横断的な学びを実践し、創造的な態度・能力の育成を目指していく。また、1.2年生は生活科、3.4年生では総合的な学習の時間を中心に、STEM教育等の教科横断的な学びを実践し、創造的な態度・能力の育成を目指して素地づくりに取組む。
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。											
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	児童のアンケート「友達や周りの人のために何かをしたり、協力したりしています。」の質問項目に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した児童の割合	4	④Chromebook活用推進プランに沿って学年ごとで取組み、身に付けさせる資質・能力の育成を図るとともに、発達段階に応じた情報モラル教育を推進するために、年間指導計画に沿って取組んでいる。							
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					1: 60%未満	⑤英語勉強科目としてだけではなく、コミュニケーションツールとして扱っていることが素晴らしいと思う。 ・多くの体験の学びは、特に児童の印象に残ると思う。 ・各教科の学習だけでなく、様々な体験授業を取り入れ、児童が楽しみながら学んでいる。視野が広がっている。					
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								3: 75%以上	②今年度は、英語カフェの開催回数(11回)や、授業における英語で伝えよう活動に取組み等、英語に慣れ親しむ機会を増やした。今後も、実践的なコミュニケーション能力の向上を図り、豊かな国際感覚の育成を目指していく。		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										2: 60%以上	③ゲストティーチャーによる、かるた作りや落語・狂言・和菓子作り体験等、伝統や文化を学び郷土への関心を高めるとともに、デフリンピック観戦等を通して異文化に触れる機会を通して価値を上げ、情操教育に取組んだ。来年度も豊かな心を育んでいけるよう情操教育活動を行っていく。
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	児童アンケート「外国語活動に、すすんで取組んでいますか。」の質問項目に、「よくあてはまる」と回答した児童の割合	4	④6年生が家庭科学習の一環として、学校周辺の清掃活動に保護者・地域の方々と一緒に取り組んだ。地域の課題を見出し、その課題を解決する行動力の育成を目指していく。							
			3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					1: 60%未満	⑤元気でひのびと育っていると思う。 ・思いやりの木を見つけた。他の人の良い所を見付けることは素晴らしいと思う。個性を生かすという点では、学校外の活動で何か実績を残した児童に、皆でお祝いするなどがあると思う。 ・たてわり班活動を通して児童や先生達が、様々な児童と触れ合う機会があり、高学年に憧れを抱き、卒業していく様子が何年も見てきた。引き続きよろしく願います。 ・教職員、地域の方、外部講師の方々とのふれあいは、とても大切だと思います。					
			2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。								3: 80%以上	②道徳科主任を中心にOJTを開催し、道徳科授業の充実を図るとともに、代表委員会を中心とした挨拶運動を行った。今後は、代表委員会が計画している思いやり活動として「思いやりの木」を校内に設置し、全校児童が思いやりの行動に感じたことを記入して貼る活動に取組む。豊かな情操や道徳心を培うために道徳教育や活動を推進していく。		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。										2: 60%以上	③算数における習熟度別少人数指導や3年～6年生の週1回の補習教室、4.5.6年生における自主学習への取り組み等、児童の学力向上に努め、主体的に学習に取り組む態度を育成し、学習習慣の定着を目指している。
④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	4	保護者アンケート「学校は、体育指導・給食指導・保健指導等で、健康教育・体力向上に努めている。」の項目に肯定的な回答は、100%	4	④休み時間に教員も児童と共に遊ぶ「とも遊び」の推進や、「びよんびよんデー(短縄)」長縄チャレンジ等に全校で取り組み、体力の向上や運動に親しむ態度を育んだ。また、家庭科・栄養士・養護教諭を中心に食育や健康教育の推進を図り、基本的な生活習慣の確立を目指し取り組んだ。来年度も継続して取り組み推進を図っていく。									
	3: 80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。					1: 60%未満	⑤1年生が中心になり、地域内の保育園や幼稚園との交流活動を3回行った。また、年間を通して低学年の教員が「保幼小連携」の研修会に参加し、情報共有や指導実践を学び、実践に生かしている。小中一貫教育では、年間4回の交流を行い、ICTの効果的な活用を共通課題として各教科で取り組み、成果と課題の共有を行い交流活動の充実と連携の推進を図り教育活動に生かしていく。							
	2: 60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							3: 80%以上	②道徳科主任を中心にOJTを開催し、道徳科授業の充実を図るとともに、代表委員会を中心とした挨拶運動を行った。今後は、代表委員会が計画している思いやり活動として「思いやりの木」を校内に設置し、全校児童が思いやりの行動に感じたことを記入して貼る活動に取組む。豊かな情操や道徳心を培うために道徳教育や活動を推進していく。					
	1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。									2: 60%以上	③算数における習熟度別少人数指導や3年～6年生の週1回の補習教室、4.5.6年生における自主学習への取り組み等、児童の学力向上に努め、主体的に学習に取り組む態度を育成し、学習習慣の定着を目指している。			

学個別 校力・標 教4 師力を 向上さ せませ ます	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「子どもは、分かりやすい授業・楽しい授業を受けている。」の項目に肯定的な回答は、91.5% ・はい 58.2% ・どちらかと言えばはい 33.3%	4:85%以上 3:75%以上 2:60%以上 1:60%未満	A	8	・児童のために、それぞれの専門性を生かしてのふれあいは、児童も教職員の方々も楽しそうに、共に学び合っていると思います。 ・学校公開日に、楽しそうに授業を受けている姿が見受けられています。ただ楽しそうというだけではなく、しっかりと先生方がまわっている様子に感心しました。	
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。							保護者アンケート「子どもは、分かりやすい授業・楽しい授業を受けている。」の質問項目に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。							
		④校内外の研究や研修、日々の教員間の授業観察を通して授業力の向上を図っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。							
た個別 の目 学標 びを い支 き援 いし ます と生 きる	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整え、相談機能の充実を促すこと、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、子ども一人一人を大切にした指導に努めている。」の項目に肯定的な回答は、86.6% ・はい 51.1% ・どちらかと言えばはい 35.5%	4:85%以上 3:75%以上 2:60%以上 1:60%未満	A	8	・これは保護者も学ぶべきことだと感じました。 ・児童への配慮、大変なことです。先生方のご苦勞を感じます。 ・児童の成長に感心しています。 ・保護者も多様化しており、親が子ども化していると感じることがある。	
②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。		4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケート「学校は、子ども一人一人を大切にした指導に努めている。」の質問項目に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合							
③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
④ほのぼのルームや保健室等、児童の状況に応じた学習環境を整えている。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
安全柔 心・軟 な目 創 造 的 な 学 習 環 境 を つ く り ま す	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、月に1回の避難訓練や安全指導等を実施し、学校だけでなく、家庭や地域と連携して、子どもの安全・事故防止に努めている。」の項目に肯定的な回答は、97.2% ・はい 83.7% ・どちらかと言えばはい 13.5%	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	A	9	・良い訓練をしていただき、ありがとうございます。 ・保護者アンケートをとることで、学校に対して感心をもってもらうことは大事だと思います。 ・「挨拶運動」「清掃運動」を通して安全安心を学んでいると思う。 ・避難訓練がいつか何かの時に役立つように、続けていただきたい。
②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケート「学校は、家庭や地域と連携して、教育活動の充実を図っている。」の質問項目に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合							
③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
④ホームページや学校・学年だより・保護者会等を通して保護者や地域に教育活動の様子を伝えるとともに、地域の教育力を生かした体験活動に取り組む。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
学地学 校校 校別 をコ ミ ニ テ マ ス 地 域 の 核 と 携 手 し て 協 働 し よ う	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	保護者アンケート「学校は、家庭や地域と連携して、教育活動の充実を図っている。」の質問項目に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合	4:90%以上 3:80%以上 2:60%以上 1:60%未満	A	10	・青少年として楽しい企画を立て、参加してもらい、そこから地域を知ってもらおうと考えています。 ・楽しいイベントが多く、また協力させていただきます。 ・以前よりも、地域・外部講師の方々と連携が多くなったと感じます。 ・今年も5年生が考えたお弁当が販売されることが楽しみです。 ・地域行事に参加している児童が多く見られ、地域貢献を担っています。 ・今後ともより一層地域とのつながりを大切にしていきたいと思っております。 ・大田区久が原を代表するような児童が育つことを期待しています。
②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	保護者アンケート「学校は、家庭や地域と連携して、教育活動の充実を図っている。」の質問項目に、「よくあてはまる」「あてはまる」と回答した保護者の割合							
③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								
④ホームページや学校・学年だより・保護者会等を通して保護者や地域に教育活動の様子を伝えるとともに、地域の教育力を生かした体験活動に取り組む。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。								

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。

○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。

○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す